



乳・子宮頸がん検診は 自分ため、愛する人のため

ピンクリボン

乳がんの正しい知識を広め、乳がん検診の早期受診を推進することなどを目的に行われる世界規模の啓発キャンペーン、シンボル

乳がんで年間死亡者約10,000人 子宮頸がんで年間死亡者約2,000人

検診で早期発見が可能です。これらのがんで命を落とさないために、2年に一度は手軽で簡単ながん検診を受けましょう。

問い合わせ 健康推進課 杉山 ☎0024

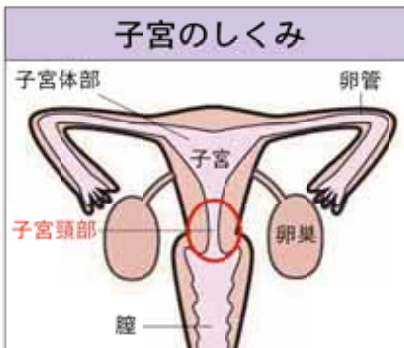
子宮頸がんになりやすい人

- ・性活動が活発である人
- ・性交渉の相手が多い人
- ・性交渉の経験が早い人
- ・初婚年齢が早い人
- ・妊娠や出産回数が多い人
- ・中絶や流産の経験がある人
- ・喫煙者

子宮頸がんは子宮頸部と呼ばれる子宮の入り口の表面の細胞から発生するがんで、40代に最も多く発生しています。最近では20代から30代までの人にも急増しており、性行為によるヒトパピローマウイルス（HPV）感染が原因と考えられています。性交経験のある女性の全てに感染の可能性がありますが、このがんは特徴的な初期症状がほとんどないため、出血などといった症状が現れたときには、すでに病状が進行していたという事例が少なくありません。病状が進行すると、不正出

子宮頸がん

血やおりもの異常（帯下異常）をはじめ、下腹部痛や発熱などの症状が現れます。がん細胞が子宮の前にあるぼうこうに及ぶと、頻尿や血尿が起きます。子宮の後ろの直腸に及ぶと血便などの症状が出てきます。症状が悪化すると子宮摘出や体の他の部分への転移も考えられます。子宮頸がんは原因がはっきりしているため、予防が可能です。女性のシンボルである子宮を守るためには、予防と早期発見が重要となります。それには検診が欠かせません。



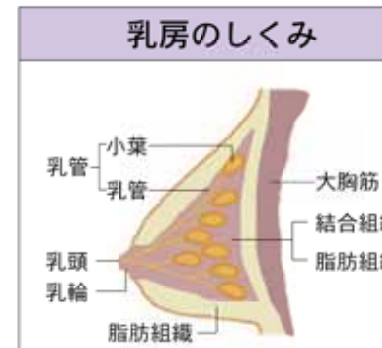
乳がんになりやすい人

- ・血縁者に乳がんの人がいる
- ・30歳以上で未婚の人
- ・55歳を過ぎても月経があるまたはあった人
- ・初経が早かった人
- ・標準体重プラス20%以上の肥満の人

乳がんは女性ホルモンの刺激を受けてできる乳腺のがんで、20代から80代まで幅広い年齢層で発生します。平成23年日本統計年鑑によると、40代後半で最も多く発生し、35歳から64歳までの死亡原因のトップとなっています。年間約4万人が診断され、約1万人が亡くなっています。乳がんの発生原因はまだ不明な部分が多いので、思い当たる要因がなくても、成人女性なら誰でも乳がんにかかる可能性があります。乳がんの発見初期の症状は痛みを伴わないしこりが約9割であるため、早期発見する

乳がん

にはセルフチェックとがん検診が大切となります。早期に発見するためには、月1回の「セルフチェック」（下図参照）が効果的。毎月、自分自身でのチェックを習慣づけることで普段の胸の状態を知り、小さな変化にも気付くことができるよう心掛けることが重要です。そして、最も重要なのがん検診です。乳がんを発見するマンモグラフィー検査では、セルフチェックでは発見できない、数ミリ単位のしこりやしこりのもととなる石灰化まで発見することができま



■乳がんのセルフチェックの仕方



1 反対の手の指で乳房と脇の下にしこりがないか、乳首をつまんで分泌物がないかどうかチェック！

2 乳がんが進行すると、乳房のひきつれや左右差など見た目でも分かります。鏡の前で早速チェック！

3 お風呂ではスポンジやタオルを使わず、泡立たない石けんなどを付けて、手で指でチェック！

4 仰向けで、肩の後ろにタオルを敷き、乳房を平たく広げるようにして、乳房や脇の下にしこりをチェック！

*月経が終わってから1週間程が適しています

乳がん検診

問診

初経の年齢や妊娠・出産の経験、前回の月経、自覚症状の有無などを問診票に記入します。その後、医師の質問に答えます。

視触診

胸のしこりやひきつれがないか、左右の乳房に差がないかなどを調べます。脇の下も触って、リンパの腫れがないか確認します。

乳房エコー

超音波で小さな乳がんがないか調べます。30歳代は乳腺の厚みがあり、マンモグラフィーではなく、エコー検査になります。

マンモグラフィー

乳房を片方ずつ、エックス線フィルムを入れた台と透明なプラスチックの版で挟んで撮影します。早期がんの発見が可能。

検査終了

約1時間で検査は終了。2～4週間で結果が分かります。

子宮頸がん検診

問診

初経の年齢や妊娠・出産の経験、前回の月経、自覚症状の有無などを問診票に記入します。その後、医師の質問に答えます。

視診

内診台に上がり、医師が子宮頸部の状態を目で確認します。また、下腹部を触って、子宮や卵巣卵管の状態を確認します。

細胞診

子宮頸部の表面を綿棒などで軽くこすり、細胞を採取します。検査は一瞬で済み、まれに出血することがありますが子宮頸部は痛みを感じにくい部分のため、ほとんど痛みやかゆみはありません。採取後に色素で細胞を染めて顕微鏡で調べます。

検査終了

約20分で検査は終了。1～2週間で結果が分かります。

受け付けています 乳がん・子宮頸がん検診

健康推進課が窓口です。

乳がん

対象者 30歳以上で和暦奇数年生まれの人
自己負担額 2,300円

子宮頸がん

対象者 ▶20歳から29歳までの人
▶30歳以上で和暦奇数年生まれの人
自己負担額 1,900円

*対象者は毎年変わります。